

クループ症候群と診断された方へ:入院診療計画書

平成 年 月 日 お名前(御署名):

様 主治医() 担当看護師()

項目	入院当日・入院翌日～	退院日	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 主治医の指示のもと、吸入を行います 呼吸状態の改善がはかれるまで続けます 呼吸状態にあわせて、吸入の回数を増減します 必要時、酸素投与を行います 必要時、呼吸状態を調べる機械(SpO2モニター)をつけます 主治医の診察があります 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて耳鼻科の診察があります 	<ul style="list-style-type: none"> 症状が落ち着き元気になれば、約3～4日で退院することができます 経過によって少し長くなる場合もあります
与薬点滴	<ul style="list-style-type: none"> 症状に応じて、ステロイド投与をします 点滴を行います 必要に応じて抗生物質を投与します 咳止め等の内服薬を処方します 点滴挿入部の観察を行います(夜間も観察していきます)  	<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分が十分に摂れるようになれば点滴を中止します 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後は、医師の指示があるまでは内服を続けて下さい 
検査	<ul style="list-style-type: none"> 入院時、血液やレントゲン検査を行います 必要に応じ、再検査を行います 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後、必要であれば、受診があります 
食事	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に応じた食事が出ます アレルギーがある場合は、禁食に気をつけます 喉の痛みがあるようでしたら、軟らかい食事に変更します 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後、食事制限はありません 
活動安静	<ul style="list-style-type: none"> 室内で安静にして下さい 入院中は、病棟より出ることはできません お熱や炎症反応がある時は、お部屋から出ることはできません 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸状態の改善により、行動制限はなくなります 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が入っている間は、体拭きや着替えのお手伝いをします 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後は入浴可です 
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 主治医が、症状・検査・処置についての説明をします 看護師が、入院生活について病棟案内をします 薬剤師より、使用しているお薬について説明があります  	<ul style="list-style-type: none"> 夜間に咳嗽発作を起こすことが多いので、呼吸困難時は吸入をして呼吸困難の緩和に努めます 咳や喘鳴が強いようなら、すぐに知らせて下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の日常生活について退院時に説明します。 薬剤師より、退院後のお薬について説明します 

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変りうるものである
 注2 入院期間については、現時点で予想されるものである